

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）	1
1. 工学部	3
2. 工学研究科	5

注) 現況分析結果の「優れた点」及び「特色ある点」の記載は、必要最小限の書式等の統一を除き、法人から提出された現況調査表の記載を抽出したものです。

学部・研究科等の教育に関する現況分析結果（概要）

学部・研究科等	教育活動の状況		教育成果の状況	
工学部	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある
工学研究科	【2】	相応の質にある	【2】	相応の質にある

1. 工学部

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 …………… 4)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 …………… 4)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 6学科制から、「地球環境工学科」、「地域未来デザイン工学科」の2学科制に移行した。

これは、従来の伝統的な学科区分を越えて、関連する専門分野の連携を図り、専門知識の融合と選択の自由度を拡げた斬新なカリキュラムを構築することを目的としている。

改組により、多面的な発想に基づくセルフオーダー的学修が可能となり、基礎学力が高く、幅広い視野と専門性を兼ね備えた工学系人材の育成を行うことができるようになっている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。

〔特色ある点〕

- 就職支援活動として、地元企業の魅力を発信し一人でも多くの学生が地元企業へ定着する機会としての「オホーツク合同企業セミナー」、工学部の学生の採用に積極的な全国の企業が参画し、学生が主体となって業界研究・企業研究を行う「北見工業大学合同企業研究会」の開催等、就職支援セミナー・ガイダンスを多数行っている。

2. 工学研究科

(分析項目Ⅰ 教育活動の状況 6)

(分析項目Ⅱ 教育成果の状況 6)

分析項目Ⅰ 教育活動の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

教育活動の基本的な質を実現している。

〔特色ある点〕

- 大学院担当後5年に一度、大学院担当教員資格再審査を実施し、基準に定める業績をあげていない教員には指導資格の変更を行うことで、大学院担当教員としての水準を維持し、全学的な教育の質保証を行っている。

分析項目Ⅱ 教育成果の状況

〔判定〕 相応の質にある

〔判断理由〕

現況分析単位の目的に沿った基本的な教育成果が認められる。